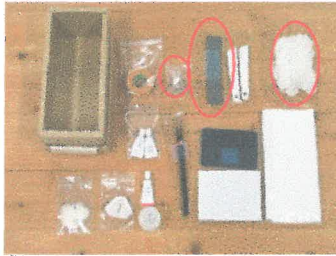


金継ぎの工程【欠け編】・・・パテ作業

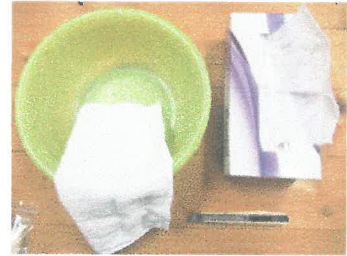
～用意するもの～



金継ぎセット



・耐水ペーパー #240・#400
 ・エポキシパテ
 ・プラスチック手袋

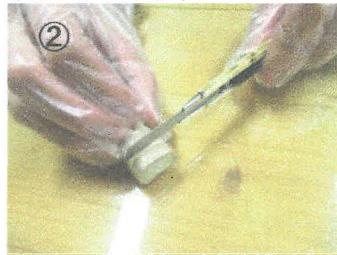


※ご注意ください
 ・カッター・ティッシュ
 ・洗面器・濡れタオル

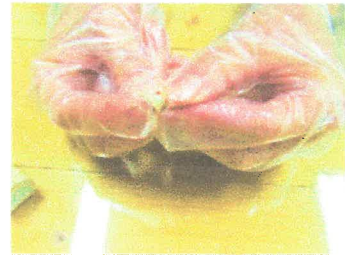
パテ作業 ※プラスチック手袋をつけて作業する



① 器物を食器用洗剤で洗い、水気をふき取る。



② パテをカッターで輪切りにし、一色になるまで練る。



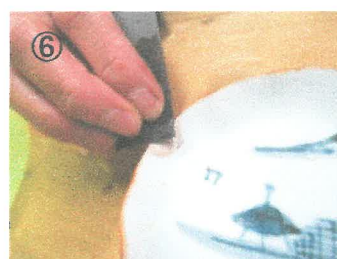
③ 欠けにパテを詰める。なるべく欠けの部分だけを覆うようにつける。
 ※ 器物より盛り上がりすぎないようにすると後の作業がやりやすいです。



④ 爪を立てても跡がつかない程度に硬化するのを待つ(30分程度)



⑤ 洗面器を用意し、少し水を入れる。



⑥ 耐水ペーパー #240を水につけて湿らせ、パテの表面をこすり、器物と同じ高さになるまで研ぐ。



⑦ 同じように耐水ペーパー #400を水につけて湿らせ、パテの表面をこすり、表面を滑らかにする。

困ったときは・・・

やくの木と漆の館 tel/fax 0773-38-9226 e-mail/yakunokitourushi@city.fukuchiyama.lg.jp

金継ぎの工程【欠け編】・・・漆塗り作業

～用意するもの～



金継ぎセット

漆塗り作業(⑨～⑪、⑭)



・プラスチック手袋・筆・絵漆
・マスキングテープ・下敷き・紙パレット

研ぎ作業(⑬)



・耐水ペーパー #800
※ご用意ください
・濡れタオル・洗面器

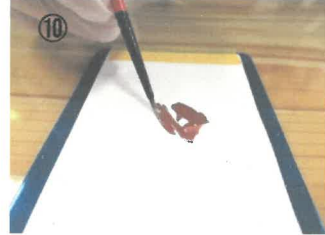
漆塗り作業 ※プラスチック手袋をつけて作業する



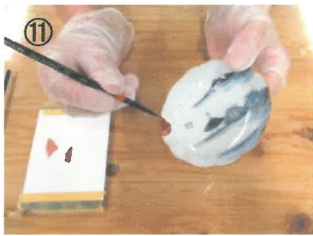
⑧ 筆は漆を使う前に一度種油をつけてなじませる。



⑨ 下敷きに紙パレットをマスキングテープで固定し、絵漆を少し出す。



⑩ 筆についた油をティッシュでふき取り、漆を少し筆に取り、紙パレットの上でなじませ、ティッシュでふき取る。



⑪ 改めて漆を筆に取り、パテ表面を覆うようにうすく塗る。(厚く塗ると、ちぢみ※の原因になるので注意。)



⑫ 濡ったタオルを敷いた上に置き、洗面器をかぶせるか、湿らせたタオルを敷いた段ボールに入れ8時間以上置く。その後プラスチック手袋をつけ、漆の表面を触り、乾いていることを確認する。

手袋に漆がつく、または手袋に張り付いてくる感じがする場合は、そのまま半日から一日置く。

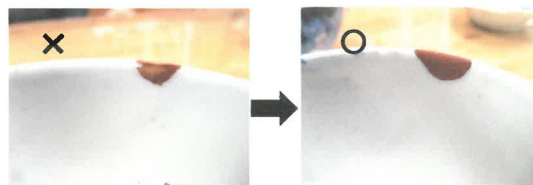
(何日置いても乾かない場合、ウエスで漆を拭き取り、もう一度⑨～⑪の作業をする)



※厚く塗りすぎ、表面だけ乾いて中が乾かない状態の塗面。ちぢみの跡が消えるまで、下のパテが出てきてもよいのでしっかり研ぎましょう。



⑬ 漆が乾いた場合、洗面器に水を用意し、耐水ペーパー #800を水に付け湿らせ、漆塗面を軽くすり、表面を滑らかにする。この時、下のパテが出てきてしまったら、もう一度⑨～⑫の手順に戻る。



⑭ 下のパテが出ないように表面が滑らかに研げたら、金粉を蒔くための漆をうすく塗る。

作業⑫の状態にして10分から15分待ち、器物を取り出し金粉を蒔く作業へ進む。

困ったときは・・・

やくの木と漆の館 tel/fax 0773-38-9226 e-mail/yakunokitourushi@city.fukuchiyama.lg.jp

金継ぎの工程【欠け編】・・・金粉蒔き作業

～用意するもの～



金継ぎセット



・金粉・真綿・プラスチック手袋

金粉蒔き作業 ※プラスチック手袋をつけて作業する



⑮ 真綿を袋から取り出し、金粉の入った包み紙を静かに広げる。
真綿に金粉を絡ませるように少量取り、漆を塗った面をそとこすり、金粉を蒔き付ける。



⑯ 漆塗り作業の⑫と同じ状態にして1週間程度そのまま入れておく。

【完成】



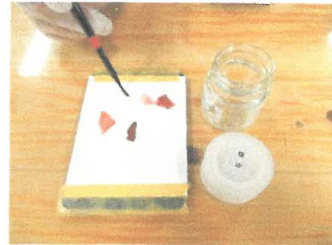
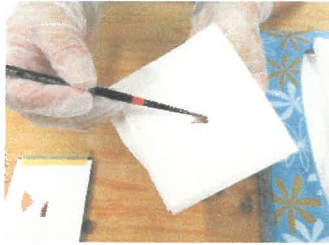
※ 漆は酸素と反応して硬化していきます。ご使用はその反応が止まる3か月を待ってからにしましょう。

困ったときは・・・

やくの木と漆の館 tel/fax 0773-38-9226 e-mail/yakunokitourushi@city.fukuchiyama.lg.jp

金継ぎの工程【割れ編・欠け編】・・・片付け

片付け ※プラスチック手袋をつける



筆を種油に付け、紙パレットの上でなじませティッシュで拭く。これをティッシュに漆の色がつかなくなるまで繰り返す。



紙パレットを外し、新聞紙などにくるんで捨てる。

～かぶれない手袋の外し方～



※ プラスティック手袋は、足りなくなったら入っているものを参考に、ご注意ください。

～漆がついた場合の処理方法～



- ①ティッシュに種油をしみこませ、漆のついた皮膚になじませるよう拭き取ります。
- ②ティッシュに漆の色がつかなくなるまで繰り返す、その後、石鹼で洗い流して下さい。

※いきなり水で洗うと漆がこびりついて取れなくなりますので、ご注意ください。



困ったときは・・・

やくの木と漆の館 tel/fax 0773-38-9226 e-mail/yakunokitourushi@city.fukuchiyama.lg.jp